

令和7年度 事業報告



社会福祉法人 米原市社会福祉協議会

目 次

令和7年度事業報告（概況）	1
I. 誰一人取り残さない仕組みづくり	2～7
1. 相談しやすい環境を整えます	
(1) 各種相談窓口の充実	2
(2) CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の配置	2
(3) アウトリーチ等継続支援事業	2
2. 支援がつながる仕組みをつくります	
(1) 多機関協働事業	2
(2) 権利擁護センター	3
(3) 地域ニーズ・社会資源の把握と情報提供	5
3. みんなが活躍できる機会をつくります	
(1) 生活困窮者就労準備支援事業・参加支援事業	5
(2) 子どもの生活・学習支援事業	7
II. みんなが支え合うつながりづくり	8～19
1. 福祉のこころを育みます	
(1) 広報・情報発信	8
(2) 地域共生社会フェスタ	8
(3) 福祉学習・啓発	9
(4) 平和祈念式典	9
2. 人と人とがつながり、支え合う機会を広げます	
(1) 子育て支援	9
(2) ご近助活動（自治会単位）の推進	10
(3) 福祉活動団体の活動推進	11
(4) 当事者団体の活動推進	12
(5) 地域福祉活動拠点の活用	12
(6) 善意銀行の運営	13
(7) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金	13
(8) ファミリー・サポート・センター事業	14
(9) ボランティアセンター	15
(10) 認知症キャラバンメイト事業	16

(11) 地域支え合いセンター・生活支援体制整備事業	16
(12) 福祉サービス事業者支援と協働	18
(13) 社会福祉法人のネットワーク構築・地域貢献推進	18
(14) 日本赤十字社滋賀県支部米原市地区の運営	18

Ⅲ. 安心して暮らせる基盤づくり 20～34

1. 福祉人材の確保に取り組みます

(1) 福祉介護人材の育成	20
---------------	----

2. 暮らしの安心を確保します

(1) 地域福祉権利擁護事業・法人後見事業	20
(2) 介護保険事業	21
(3) 介護予防事業	25
(4) 障がい福祉サービス	26
(5) 放課後児童クラブ	29
(6) 子育て世帯訪問支援事業	29
(7) 家計改善支援事業	30
(8) 生活福祉資金・一時援護資金貸付事業	30
(9) フードバンク	31
(10) 音の広報発行事業	32
(11) その他の生活支援	32

3. 災害に強いまちをつくります

(1) 災害支援体制の構築	33
(2) 災害ボランティアセンターの設置運営	33

Ⅳ. 推進体制の充実・強化 35～38

(1) 組織基盤の強化	35
(2) 財政基盤の強化	37
(3) 人材の確保・育成・定着	37

令和7年度事業報告（概況）

単身世帯の増加や地域のつながりの希薄化と言われるなか、社会的孤立・孤独を抱える人たちの増加と問題の深刻化はなおも進展し、また物価高などの経済的な状況も相まって、暮らしに不安を抱える状況が数多く見られました。

こうした「つながりづくり」や「暮らしの不安」に対応した取組の拡充が求められ、本会では、その有するネットワークと課題解決の機能を広く地域に展開しながら、各種の事業に取り組みました。

地域支援においては、世代や分野を超えてつながり、そして地域の一員として暮らしていけるような地域づくりをめざし、市民をはじめボランティアや各種団体、各自治会等が行う活動への支援を通じて、地域住民等の主体性を尊重した地域福祉活動の展開と地域課題の解決に向けた地域力の向上に取り組みました。見守りネットワーク会議や見守り訪問活動の実施を働きかけ、個別の生活課題を地域の活動につなげました。

市民が抱える暮らしの困りごとに対しては、既存の相談支援の取り組みを活かしつつ、属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に進めました。特に、生活困窮やひきこもり、社会的孤立・孤独などの課題を抱える人（世帯）に対しては、アウトリーチの機能を活かした支援や関係機関をはじめ地域を構成する様々な主体と協働した包括的な相談支援を行いました。

介護保険サービスならびに障がい福祉サービスにおいては、利用者の意向を尊重し、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、利用者ひとり一人のニーズや特性に応じた支援を行いました。通所介護事業において各事業所の定員の見直し、通常規模型事業所の地域密着型への移行を行うほか、「デイサービスセンター寄ろ家うかの」の事業終了、「デイサービスセンター行こ家のとせ」の事業拡充に向けた準備を行うなど、事業の効率性と収益性を意識しながら、経営目標を達成するための事業運営体制を整備しました。

このことをはじめ、経営基盤の安定に向けて、法人全体で各種の事業やサービスの課題の洗い出しと事業の運営体制・方法等についての見直しを行い、業務改善と業務の効率化を進めました。また、充実した研修体制のもと職員の資質向上を図るとともに、給与の見直しを行うなど職員の処遇改善にも取り組みました。

I. 誰一人取り残さない仕組みづくり

1. 相談しやすい環境を整えます

計画	<u>(1) 各種相談窓口の充実</u> SNS 等の活用、顧問弁護士との連携 等 <u>(2) CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の配置</u> 個別の相談を地域支援につなぐコミュニティソーシャルワーカーを配置する。 ○山東地域担当、伊吹地域担当：愛らんど ○米原地域担当、近江地域担当：ゆめホール <u>(3) アウトリーチ等継続支援事業</u> ※市委託事業 困りごとを抱えつつも支援につながっていない方への働きかけを行うアウトリーチのほか、継続的な関わりを行う中で困りごとを受け止め対応する。
	事業実績 ○相談支援窓口 個別支援についての相談：102 件 地域活動についての相談：609 件 ○アウトリーチ 見守りネットワーク会議への出席 33 地域：CSW62 回（専門職、地域包括センターの出席：37 回）

2. 支援がつながる仕組みをつくります

(1) 多機関協働事業 ※市委託事業

計画	単独の相談機関では対応しづらい複合的な課題に対して、多機関多分野の相談機関が連携強化できる相談支援体制、包括化ネットワークの構築および新たな社会資源の創出をめざす。複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人に対し働きかけを行い、信頼関係の構築と必要な支援につなげる。 ○重層的支援体制整備事業推進会議の開催 ・代表者会議、担当者連絡会議、コアメンバー会議 ・複合的な課題を抱えるケースへの相談支援（事前打合せ会議、包括化ケース会議） ○研修会の開催、事例検討会の開催 ○社会資源の開発（個別の課題やニーズを地域課題として認識できるよう、研修・ワークショップ等を通じた検討、提案） ○関係機関や地域活動、当事者活動等、各事業活動（見守り活動・フードバンク活動・相談機関への働きかけなど）を通じた情報収集、支援を必要とする方の把握、支援へつなぐ働きかけ
	事業実績 ○重層的支援体制整備事業推進会議の開催 ・代表者会議（2 回） ・担当者連絡会議（2 回） ・テーマ別分科会 「ひきこもり」（2 回） 「身寄りのない人等の生活支援・死後事務」（9 回） ・コアメンバー会議（3 回） ・事務局会議（5 回）

	・ケースの事前打合せ会議（7回） 13件 ・重層的支援会議（延べ30回） 対象ケース18件 ・支援会議（延べ22回） 対象ケース21件 ○研修会 ・研修会「つながる支援教育と福祉」（8/8） 参加者数：67人 ○事例検討会 ・野中式事例検討会 参加者数：43人 ○アウトリーチ等継続的支援 ・個別ケースへのアウトリーチ 本人または家族の同意あり（11件）、同意なし（4件） ひきこもりがちな方へつながりカフェ「めいめい」 7月～（月2回開催） 実参加者数：6人（延べ10人） ・関係機関へのヒアリング（14機関・部署） 情報提供ケース：18件（内、4件は重層事業で対応） ○社協内重層的支援体制整備事業の取組み ・部署横断的事例検討会 （7/11）参加者数：28人 （12/10）参加者数：21人
--	---

（2）権利擁護センター ※一部市委託事業

計 画	成年後見制度利用促進の中核機関として、制度や権利擁護に関する広報・啓発を行うとともに、成年後見制度等の利用にかかる相談を行う。 また、第2期成年後見制度利用促進計画の推進をはかり、重層的支援体制整備事業（多機関協働事業）と権利擁護支援の地域連携ネットワークの一体的支援を実施する。 認知症や知的障がい、精神障がいなどによって、ひとりで決めることに不安や心配のある方などへの支援を行い、地域で安心してその人らしく生活できるよう支援する。 ○成年後見制度の相談・申し立て支援 ○後見人等への支援 ○本人にとって適切な後見人候補者の家庭裁判所への推薦（受任調整） ・市長申し立てケース、親族からの後見人選任の希望があったケースや相談機関から相談のあったケースにおいて、関係会議（多機関協働事業による支援会議等）や支援向上委員会を通じ、必要に応じて適切な後見人候補者を家庭裁判所に推薦する。 ○後見人等を含めた支援チームの形成と支援の実施 ・関係会議（多機関協働事業の支援会議等）を通じ成年後見利用前、開始前、開始後のチーム支援を行う。 ○地域課題の検討、調整、解決に関する協議 ・権利擁護センター運営委員会において、地域課題の検討、調整、解決に関する協議を行う。 ○権利擁護に関する普及・啓発 ・社協広報「てとて」にて権利擁護センターの周知 ○「なんでも相談会」の開催 ○意思表示のための「くらし方ノート」の普及・啓発 ○終活講座の開催・終活フォローアップ講座の開催
--------	--

事業実績	○相談・申立支援 ・成年後見についての相談・問い合わせ：25 件 ・親族後見人申立て支援：3 件 ・親族後見人選任後の手続き支援：2 件 ・親族後見人センター登録の実施、周知 ○後見人等支援 ・親族後見人のための情報交換会の開催（9/17） ※長浜市成年後見・権利擁護センターと共催 - 情報提供「後見事務報告書の記入の仕方について」 - オブザーバー：大津家庭裁判所主任書記官 秦 氏 - 大津家庭裁判所長浜支部主任書記官 伊庭 氏 - 意見交換会 参加者数：4 人（米原市在住親族後見人 1 人、長浜市在住親族後見人 3 人） ○本人にとって適切な後見人候補者の家庭裁判所への推薦（受任調整） ・申立て検討会議（3 回） 7 件 ※市担当課と権利擁護センターにて検討 ・受任調整会議の開催 - 支援チーム会議（2 回） 2 件 - 権利擁護支援向上委員会（2 回） 2 件 ○後見人等を含めた支援チームの形成と支援の実施 ・後見開始後の支援会議の開催（10 回） 10 件 ○権利擁護センター運営委員会の開催（2 回） ○権利擁護支援向上委員会の開催（3 回） ○普及啓発 ・社協広報誌「てとて」への権利擁護センターの事業内容の掲載（6月号、9月号、2月号） ・意思決定支援研修会（米原市高齢福祉課地域包括支援センターと共催） ①令和 7 年 11 月 21 日（金） 参加者数：37 人 講師：同志社大学社会福祉学部教授 永田 祐 氏 ②令和 8 年 2 月 5 日（木） 参加者数：39 人 講師：尾張東部権利擁護支援センターあすライツ センター長 住田 敦子 氏 ○なんでも相談会の開催 ・相談件数 （9/6）10 件 （3/14）16 件 ○終活講座の開催 延べ参加者数：41 人（参加実人数：16 人） ①「老後にかかるお金のこと」（9/2） 参加者数：11 人 ②「空き家・土地の課題や管理について」「生前整理について」（9/9） 参加者数：13 人 ③「遺言・相続、委任契約について」（9/16） 参加者数：10 人 ④「成年後見制度について」「くらし方ノートの作成」（9/30） 参加者数：7 人 ・終活フォローアップ講座の開催 「家族信託について」 参加者数：17 人
------	---

（３）地域ニーズ・社会資源の把握と情報提供【多機関協働・地域づくり・参加支援】

計画	ご近助活動やボランティア活動の支援、相談事業や福祉サービス等を実施する中で、地域の課題や暮らしの困りごと、自治会を超えての参加が可能な居場所をはじめとした社会資源の把握を行う。 また、関係機関や自治会長・民生委員児童委員・福祉協力員等から得た情報をあわせて、地域カルテ・社会資源台帳を作成し、自治会や関係機関等と共有するとともに、地域福祉活動の推進や個別支援を行う際に活用する。 ○地域カルテ・社会資源台帳の作成 ○各福祉活動者、関係機関、事業者等への地域カルテ・社会資源台帳の提供 ○個別課題や個別ニーズの共有・解決に向けた検討の場の形成
事業実績	○福祉懇談会、見守りネットワーク会議、居場所への訪問、関係機関への聞き取り等による地域ニーズ、社会資源の把握（適宜） ○地域カルテ・社会資源台帳の作成 ・地域カルテ・社会資源台帳の更新 新規掲載団体・企業等数：４件 ・新たな資源の発掘：２７件 ○各福祉活動者、関係機関、事業者等への地域カルテ・社会資源台帳の提供 ・自治会への提供（１０８自治会） ※合同説明会にて ・相談支援機関等（２５機関）への提供

３．みんなが活躍できる機会をつくります

（１）生活困窮者就労準備支援事業・参加支援事業 ※市委託事業

計画	社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱える方に対し、人・地域とのつながりが実感できるよう、就労や地域活動への参加などの社会参加に向けた支援を行うとともに、地域活動や企業・事業所、団体等との連携を図り、それらの受け皿となる社会資源づくりを行う。 ○生活習慣確立のための支援（訪問活動や居場所の提供などにより、生活リズムづくりを支援） ○社会体験・社会参加活動の支援 ○就労体験・就労支援
----	---

《生活困窮者就労準備支援事業》

事業実績	■プラン作成件数：０件 ■プラン評価件数：０件 ■相談支援回数：１０回 ○社会資源開発 ・社会資源把握、開拓件数：１８件 ・社会資源訪問、連絡調整件数：１６２件 ※地域の企業や活動者などに聞き取りをし、社会資源の把握、開拓に取り組むことができた。その中で、社協内で連携を図り、部署を越えて他部署の職員と協働し訪問することができた。
------	---

《参加支援事業》

- プラン作成件数：1 件（再プラン 6 件）
- プラン評価件数：7 件（再プラン継続 6 件）
- 相談支援回数：504 回

○居場所の開設・内職作業の提供

- ・提供日数：98 日 延べ参加者数：137 人

実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
提供日数	8	8	8	9	8	7
実利用者数	3	4	2	3	3	2
延べ利用者数	13	13	11	14	9	8
実績	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
提供日数	9	8	8	8	8	9
実利用者数	2	2	3	3	3	2
延べ利用者数	12	8	11	14	13	11

○社会体験・就労体験

- ・社協から

食料の仕分け作業、アクセサリーの製作、ハンドメイド女子会、ゲームの居場所づくり

- ・社会資源から

アクセサリーの製作販売（地域のイベント）、米原駅前駐車場清掃 農作業、ボランティアとの活動（レジン、編み物、ミシン）、製菓、ポスティング作業、小学生向け学習会

- ・提供日数：101 日 延べ参加者数：159 人

実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
提供日数	4	3	8	11	6	14
実利用者数	5	5	6	7	4	6
延べ利用者数	8	5	13	17	7	24
実績	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
提供日数	18	10	10	4	5	8
実利用者数	5	6	5	4	5	6
延べ利用者数	27	14	17	6	8	13

○社会資源開発

- ・社会資源把握、開拓件数：18 件【再掲】
- ・社会資源訪問、連絡調整件数：162 件【再掲】

※地域の企業や活動者などに聞き取りをし、社会資源の把握、開拓に取り組むことができた。その中で、社協内で連携を図り、部署を越えて他部署の職員と協働し訪問することができた。

(2) 子どもの生活・学習支援事業

※市委託事業

計 画	学習の機会が十分でなかったり、基本的な生活習慣が整いにくい世帯の子どもに対して学習・生活支援を行うため、支援プランを作成するとともに支援の提供場所や支援団体等を調整し、オーダーメイド型の支援を提供する。 また、誰でも参加できる拠点型の学習支援の場を提供する。 ○新たな地域の支援者の養成・育成 ○市内各拠点を活用した学習・生活支援
事 業 実 績	○子どもの居場所・学習の場の提供（229 回） 実利用者数：8 人 延べ利用者数：229 人 ○通信制高校生向け集合型学習支援（5 回） 実利用者数：3 人 延べ利用者数：5 人 ○新規支援者の開拓：2 件

Ⅱ. みんなが支え合うつながりづくり

1. 福祉のこころを育みます

(1) 広報・情報発信

計 画	ご近所活動やボランティア活動、市内の福祉事業者の取り組みなど、市内の様々な福祉活動についての情報を多様なメディアを通じて市民に届け、福祉理解や福祉活動への参加意識を高める。 ○社協広報誌「てとて」の発行（年4回） ○ホームページやInstagramなどSNSを活用した幅広い世代への情報発信 ○地域共生社会フェスタや福祉懇談会、各種講座での情報発信
事 業 実 績	○社協広報紙「てとて」の発行（4回） ※6月、9月、11月、2月 ○ホームページやフェイスブックをはじめとしたSNSなど多様なメディアを活用し多世代に対し効果的に情報を発信 ・ホームページによる発信：17件 ・SNSによる情報発信：Facebook12件、Instagram：104件

(2) 地域共生社会フェスタ【地域づくり】

計 画	人権の尊重や支え合い活動の必要性を啓発し、地域共生社会の実現に向けて地域づくりや取り組みを推進する。 ○市民や団体、事業所等の参画を得た体験型による実施 ○各関係機関、施設等による講演会等の企画、実施 ○共同募金の啓発
事 業 実 績	○開催日：令和7年11月16日（日） ○場 所：滋賀県立文化産業交流会館 ○テーマ：「共生の心をはぐくむ ～みんなで作ろう～！共生社会～」 ○内容 【ブース出展】 体験コーナー・食べ物コーナー・展示コーナー（計44ブース、51団体参加） 【ステージ】 ステージ発表：10団体（ボランティアグループ、福祉活動団体、当事者団体、中学校） 司会・リポーター：5人（河南中学校、双葉中学校、米原高校） 【オープニングムービー】 23団体出演 ○参加者数：1,000人以上 ○その他 【当日運営サポート】 双葉中学校、米原高校、フクシマガリレイ株式会社 【事前準備への協力】 双葉中学校、大東中学校、社会福祉法人千寿会、傾聴ボランティア・ファミサポサポート会員など

（３）福祉学習・啓発【地域づくり】

計画	○福祉学習等懇談会の開催 ○各学校での福祉学習の実施（当事者、活動団体、福祉事業所の参画を得て実施） ○福祉体験学習の受け入れ ○出前講座の実施 ○福祉学習サポーター交流会の開催
事業実績	○福祉学習等懇談会の開催 福祉学習プログラムの提供と情報意見交換 ・小学校（６/３） 大原、山東、河南、息長、坂田 参加者数：５人 ・中学校（６/５） 大東、伊吹山、米原、河南、双葉 参加者数：５人 ○福祉学習の開催 小学校：７校 延べ１７回開催 中学校：５校 延べ１３回開催 高齢者体験・車イス体験・アイマスク体験・ボッチャ体験・ゴールボール体験・シッティングバレー体験・講話（当事者、ボランティア、福祉事業所、社協からの講話）・高齢者施設訪問 ○福祉体験学習の受入 ・大東中学校職場体験：１人（ほおずき作業所） ・河南中学校職場体験：３人（ゆめホール） ・双葉中学校職場体験：３人（ほおずき作業所） ○出前講座の開催 ・開催数：２５件 参加者数：６３１人 ○福祉学習サポーター交流会（福祉学習体験）の開催（９/２） 参加者数：４人 交流会後のサポーター参加：８校 延べ１４人

（４）平和祈念式典

計画	○恒久平和の実現に向けた啓発 ※米原市・遺族会との合同開催
事業実績	○令和７年度米原市平和祈念式典の開催（８/２） 場所：ジョイ伊吹、平和の礎 参加者数：３００人

２．人と人とがつながり、支え合う機会を広げます

（１）子育て支援【地域づくり】

計画	親や家族、地域や関係機関が連携しながら、子どもの成長を促す様々な体験や交流・つながりづくりの場を創設するとともに、主体的な活動へ発展するよう支援する。 ○子育てサークル育成講座の開催 ○既存サークルの支援、情報交換・交流会の開催 ○子育てサークルに関する情報発信 ○各種事業参加者への相談窓口の情報提供【アウトリーチ】 等
----	---

事業実績	○子育てサークル育成講座（５回シリーズ） 参加者数：７組・１６人（大人８人/子ども８人） 延べ 62 人 ボランティア人数：延べ 32 人 ○サークルの立ち上げ １グループ結成（サークル名：まいみんず） ○子育てサークル交流会（２回） 延べ参加者数：62 人 ○既存サークルへの助成金案内 ○既存サークル支援 相談：18 件、情報提供：9 件、地域活動者とのマッチング：3 件
------	---

（２）ご近助活動（自治会単位）の推進【地域づくり】

計画	地域住民が地域の困りごとに気づき、支援を必要とする人への居場所づくり活動や生活支援の取り組みを推進する。 ○自治会長・民生委員・福祉協力員等合同説明会の開催 ○ご近助活動スキルアップ講座の開催 ○ふれあいいきいきサロンの推進・活動支援【参加支援】 ○子ども食堂、学習支援活動の推進・活動支援【参加支援】 ○福祉懇談会の開催支援 ○見守り活動の推進【アウトリーチ】 ○避難行動要支援者参加型避難訓練の推進・活動支援 ○男性のためのいきいき料理の実施【参加支援】 ○補助金の交付による活動支援 ○備品・車両の貸し出し ○活動への相談支援と情報提供
事業実績	○合同説明会の開催 ・山東地域 参加者数：87 人 ・伊吹地域 参加者数：48 人 ・米原地域 参加者数：56 人 ・近江地域 参加者数：64 人 ○ご近助活動スキルアップ講座の開催（6/21） ・『居場所づくりのススメ ～運営の工夫と年間計画のポイント～』 ・『移動を支える地域づくりのススメ ～いろんな取り組みを学ぼう～』 参加者数：35 人 ○ふれあいいきいきサロンの推進・活動支援 実施内容やボランティア募集などに関する情報提供や相談支援の実施 ・67 自治会 延べ 746 回（地域での取組実績） ○子ども食堂・学習支援活動の推進・活動支援 運営方法や助成金に関する情報提供、食材の提供や相談支援の実施 ・1 自治会 1 回（地域での取組実績） ・まいばらこどもの居場所づくりに関する座談会（10/31） 参加者数：18 人 ○福祉懇談会の開催支援 ※一部生活支援体制整備事業における２層協議体を含む。 開催に向けた相談支援、当日の説明と進行 ・56 自治会 延べ 60 回・752 人（地域での取組実績）

	○見守りネットワーク会議の運営支援 福祉職出席の調整、会議における説明、開催後の福祉職への情報提供等 ・55 自治会 延べ 352 回（地域での取組実績） ○災害時個別避難支援計画作成・更新に向けた活動支援 取り組みの必要性の説明、具体的な実施方法に関する情報提供、相談支援 ・18 自治会 延べ 42 回（地域での取組実績） ○見守り訪問活動の推進・活動支援（実施月数による集計） 訪問の際の見守りのポイントや訪問を必要とされる方についての説明、活動実施における相談支援 ・45 自治会 延べ 314 ヶ月（地域での取組実績） ○避難行動要支援者参加型避難訓練の推進・活動支援 具体的な訓練実施方法に関する情報提供、当日の福祉職による介助技術伝達のための講習の調整等 ・41 自治会（地域での取組実績） ○防災力向上のための取り組み マップの整備や登録リスト整理の必要性の説明、実施方法に関する情報提供と相談支援 ・福祉マップの作成・更新支援：2 自治会 ・避難行動要支援者登録の推進：15 自治会 ○男性のためのいきいき料理教室の推進 ・実施自治会数：3 自治会 ○補助金の交付 ・85 自治会（補助額：3,073,500 円 ※新規事業を含む。） ○備品貸し出し：350 件（かき氷器、ポップコーン器、綿菓子器 等） ○車両の貸出し：18 件 ※市内自治会 ○ふくし募金活動（一円玉を大切に作る運動）への支援 ・実施自治会数：8 自治会 ○高齢者等の移動手段の確保を促進するためのモデル事業の実施 ・実施自治会数：3 自治会 延べ 7 日間
--	---

（3）福祉活動団体の活動推進

計 画	福祉活動団体が主体的に活動を進めることができるよう、情報交換や連携連絡の場を設けるとともに、様々な活動の場面で協働して地域福祉活動に取り組めるよう支援する。 ○懇談会の開催（情報意見交換、協働した取り組みの検討 等） ○団体活動についての相談支援 ○補助金の交付による団体活動の支援 ○単位民児協事務局の運営と委員活動の支援
事 業 実 績	○当事者団体・福祉団体長懇談会の開催（6/30） ・福祉活動団体の参加：6 団体・6 人 ・懇談会をきっかけとした協働の創出：1 件 ボランティア連絡協議会・リリーフによる子どもの流しそうめん体験の実施

	○団体活動への支援（米原市老人クラブ連合会、米原市赤十字奉仕団、米原市更生保護女性会、地域・子ども未来支援運営委員会、米原市子ども会育成連合会、滋賀県私立保育連盟 滋賀県園児絵画展、米原市ボランティア連絡協議会） ・相談支援（29 回） ・会議への出席（13 回） ・各種団体事業運営支援（4 回） ※赤十字 2 回、老ク連 1 回、ボラ連 1 回 ○補助金の交付 《福祉活動団体等活動推進補助金》 ・福祉活動団体：6 団体（補助額：600,000 円） ・ボランティアグループ：13 団体（補助額：221,000 円） ・子ども食堂・学習支援：3 団体（補助額：68,000 円） ・新規事業補助：1 団体（補助額：150,000 円） ※子どもと家族のための音楽体験事業 ○単位民児協事務局の運営と委員活動の支援 ・定例会議等の開催（118 回）
--	---

（４）当事者団体の活動推進

計画	地域や行政等とのつなぎ役となったり、地域活動への参画を支援する等して、当事者に対する理解を深めるとともに、新たな支え合い活動や福祉サービスの開発につなげる。 ○懇談会の開催（情報意見交換、ニーズ把握、福祉学習への参画 等） ○団体活動についての相談支援 ○補助金の交付による活動支援 ○当事者活動参加者への相談対応、相談窓口等の情報提供【アウトリーチ】
事業実績	○当事者団体・福祉団体長懇談会の開催（6/30）【再掲】 ・当事者団体の参加：4 団体 4 人 ○当事者団体への活動支援・相談（でこぼこフレンズ、米原市障害者福祉協会、米原市聴覚障害者協会、リリース（ぷらっとほーむ）、母子福祉のぞみ会、はばたき） ・相談支援（16 回） ○スペシャルオリンピックス日本・滋賀湖北支部活動支援 ・卓球・バスケットボール・フロアーホッケーの練習サポート（8 回） ○補助金の交付による活動支援《福祉活動団体等活動推進補助金》 ・当事者団体：2 団体（補助額：170,000 円）

（５）地域福祉活動拠点の活用

計画	周辺地域や関係機関との連携・協働を図りながら、市民の福祉拠点となる施設を運営する。小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談支援、介護保険サービス・介護予防事業、障がい福祉サービスの提供等を通じ、市民の福祉ニーズに応える施設運営を行う。 ○米原市指定管理施設（米原地域福祉センターゆめホール、北部デイサービスセンターきたで〜）の運営 ・運営推進会議の開催 ・地域交流事業の実施（市民交流事業、子育て支援事業 等） ・近隣自治会等の活動への参加・協力
----	---

事業実績	○米原市指定管理施設の運営 ・運営推進会議の開催 米原地域福祉センターゆめホール（２回） 北部デイサービスセンターきたで～（２回） ・地域交流事業の実施 米原地域福祉センターゆめホール「ゆめたいむ！2025」（12/24、25） 参加者数：85人 - 北部デイサービスセンターきたで～ 「よもぎ餅会」（6/21） 参加者数：39人 「クリスマス会」（12/13） 参加者数：29人
------	---

（６）善意銀行の運営

計画	市民や企業・団体等から寄せられる善意を、市内で地域福祉推進に取り組む自治会や関係団体の活動を支えるための資金や、市民の暮らしの困りごとを支える財源として有効活用する。 ○社会課題の解決に向けた取り組みの周知と寄付意識の醸成（取り組みを支えるための金銭・物品の善意銀行への預託の啓発） ○社会課題の解決に向けた取り組みへの金銭・物品の活用（生活困窮者、市内福祉事業所等への提供 等） ○善意銀行への預託・活用に関する報告 ○物の流れの見える化と SNS 等を活用した情報提供
事業実績	○「フードバンクまいばら」との共催によるフードドライブの実施 ・フードドライブ（9/1～10/10） ○金銭預託：15 件（327,826 円） ○物品預託：92 件 ・米（931kg）、米以外の食料品、日用品、保冷庫、輪投げ等 ○物品払出：延べ 133 件 ・食料支援事業への提供：17 件 ・子ども食堂および福祉事業所等への提供：116 件 ○社協広報紙「てとて」への預託・活用実績の掲載（4回）

（７）赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

計画	地域福祉の課題解決に取り組む民間団体等への支援のほか、地域における助成事業を通じて共同募金運動の活性化を図る。 ○共同募金委員会の運営 ○受配団体等と協働した募金活動 ○募金の効果的な活用に向けた検討 ○様々な地域福祉活動への幅広い募金の配分 ○歳末たすけあい運動における個別配分事業（要援護世帯等向け歳末配分事業）、当事者団体配分 等
----	--

○共同募金委員会の開催

理事会

- ・第1回理事会（6/4） 令和6年度事業・決算報告、役員候補者の選出、評議員候補者の選出

- ・第2回理事会（7/31） 会長・副会長の選任

- ・第3回理事会（3/18） 令和8年度事業計画・予算

評議員会

- ・第1回評議員会（6/19） 令和6年度事業・決算報告

- ・第2回評議員会（6/20） 役員の選任

- ・第3回評議員会（3/24） 令和8年度事業計画・予算

監事会（5/23、11/5）

○一般募金・歳末たすけあい募金の推進・活動の実施

- ・自治会、団体、企業、学校、事業所等への募金協力依頼

- ・寄付つき自動販売機の設置啓発

- ・二次元コード（インターネット寄付システム）の活用

- ・書き損じハガキ等の回収呼び掛け

- ・募金広報活動の実施 ※地域共生フェスタにて募金受領者による募金の使い道を紹介し、募金受領者の感想を「ありがとうメッセージ」として展示

- ・募金実績

区分	募金額
一般募金	5,969,829 円
歳末たすけあい募金	3,359,003 円

○歳末助け合い運動における配分事業

- ・個別配布：637 件 ※1 世帯あたり 4,000 円の配分

対象者：ひとり暮らし高齢者世帯、障がい者手帳所持世帯、ひとり親世帯等、低所得者世帯、要就学援助世帯

- ・当事者団体配分：3 団体 ※1 団体あたり 20,000 円の配分

- ・地域福祉事業配分

単位民生委員児童委員協議会：3 民児協 ※1 協議会あたり 50,000 円の配分

米原市社会福祉協議会（食糧支援事業、ひきこもり家族等教室、年末に HOT 一息つこう会、ホテルでマナー講座）

（8）ファミリー・サポート・センター事業

※市委託事業

子育てにおける相互援助活動を支援し、市民が安心して仕事と育児を両立できるまちをめざす。

○事業活動の広報、啓発

○会員の募集、登録および管理

○会員相互の援助活動の相談、調整

○サポート会員に対する研修の実施

○交流イベントの実施

○利用会員等への相談窓口等の情報提供【アウトリーチ】

事業実績	○啓発活動 ・リーフレットの配布 ・広報誌の発行（１回） ・「社協広報てとて」にて養成講座・交流会の案内（２回） ・「広報まいばら」にて養成講座、交流会の広報（４回） ・公式 LINE、公式 Instagram による案内と当日の様子を紹介（養成講座・交流会） ○会員の募集、登録及び管理 ・登録者数：利用会員 98 人（内新規 11 人）、サポート会員 88 人（内新規 5 人） 両方会員 23 人（内新規 2 人） ○会員相互の援助活動の相談、調整 ・相談件数：376 件 ・マッチング件数：4 件 ・利用実績：280 件（実利用者数：8 人 サポーター実活動者数：11 人） ○サポーター養成講座の開催（３回） ・参加者数：延べ 120 人（大人/76 人、子ども/44 人） ○救急救命講習「小児救急救命講習」の開催（7/16） ・参加者数：11 人 ○交流会の開催（５回） ・参加者数：延べ 193 人（大人/105 人、子ども/88 人）
------	--

（９）ボランティアセンター

計画	支援を必要とする人や地域、サービス事業所などからの声をもとに、ボランティアによる支援ニーズを把握し、必要な事業の企画とボランティアの養成を行うなど、ボランティア活動の推進と活動に関する調整を行う。 ○情報提供・活動調整【参加支援】 ○傾聴ボランティアの養成講座の開催・活動支援【地域づくり】 ○学生（中学・高校生向け）向けボランティア養成講座の開催【地域づくり】
事業実績	○相談件数：844 件 ・芸能ボランティア活動マッチング件数：109 件 ・ボランティア活動者からの相談：16 件 ・個人からの相談：28 件 ・施設・団体からの相談：16 件 ○SNS・ホームページによる情報発信：121 件 ○社協広報「てとて」へのボランティア情報の掲載（４回） ○市ボランティア連絡協議会の運営支援 ・会議・事業への出席（７回） ○愛の手ボランティアへの支援 ・意見交換会・交流会の開催（３回） ・訪問活動調整：13 地域（訪問者：12 人、対象者：59 人）

	○傾聴ボランティア養成講座（５回シリーズ） 受講者：１３人（延べ４５人） ○傾聴ボランティア（ボランティアグループ）の活動支援 ・定例会への出席（１２回） ・訪問先マッチング（１１２回） ※延べ２２４人のボランティアが活動 ・新規依頼：２件 ※ボランティアの事前訪問に同行 ○学生ボランティア活動の推進 学生への案内と説明 中学校：６校（延べ１２回） 高校：３校（延べ６回） ※伊吹高校・米原高校・長浜北星高校 ・学生ボランティア養成講座（７／６） 参加者数：１３人 ・学生ボランティア活動調整：１５件 ※施設、子ども食堂、フェスタ等
--	--

（１０）認知症キャラバンメイト事業【地域づくり】

※市委託事業

計画	地域共生社会の実現に向けて、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる地域をつくる。 ○認知症サポーター養成講座の開催 ○キャラバンメイトの活動支援 ○「チームオレンジ」の活動支援
事業実績	○認知症サポーター養成講座の開催（５回） 参加者数：１０７人 ○出前講座（ミニ講座）の開催（７回） 参加者数：１４６人 ○定例会の開催（１２回） ※毎月第３金曜日 ○認知症啓発事業（９月） ※市役所、市内の図書館にて活動展示 ○米原市オリジナル認知症サポーターグッズの作成（１回） ○チームオレンジの活動支援 ・本人ミーティングへの参加調整（６回） ・地域共生社会フェスタでの活動支援調整（１回）

（１１）地域支え合いセンター・生活支援体制整備事業【地域づくり・参加支援】

※市委託事業

計画	自治会の範囲を超えて地域課題を共有し、解決に向けての協議の場をつくる。 地域やサービス事業者などが協働し、広域での生活支援サービスの充実や認知症高齢者の見守り活動等、地域における住民同士の支え合い活動を推進する。 ○協議体の運営 ○支援ニーズの集約と活動・サービス等に関する情報の発信（情報収集・発信） ○相談支援、活動調整 ○研修会、情報交換会の開催 ○多様な居場所や生活支援等、地域のニーズに合わせた社会資源の開発【多機関協働】 ○社会資源の創出・運営等を目的とした財源確保のための取り組みの推進
----	--

事業実績	○協議体の運営 【1 層協議体（市域等）】 ・当事者団体・福祉団体長懇談会の開催【再掲】 参加者数：11 人（10 団体） ・まいばらこどもの居場所づくりに関する座談会【再掲】 参加者数：18 人 ・活動希望者が活動につながるための情報交換会～居場所づくり編～ 参加者数：11 人 【2 層協議体（自治会単位等）】【再掲】 ・テーマ：災害時支援体制、生活支援活動、居場所づくり活動、見守り活動、福祉活動の推進 ほか 延べ 56 回 延べ参加者数：752 人 ○支援ニーズの集約と活動・サービス等に関する情報の発信（情報収集・発信） ・地域カルテの整備：各自治会カルテ（108 自治会）および社会資源台帳（25 事業所へ配布）の整備 ※R7 年度より、市役所および社協内はデータでの共有 ・ウェブサイトの整備と運用 更新回数（2 回） ・SNS での情報発信（116 回） ※ Facebook12 回、Instagram104 回 ・情報発信に関する専門機関への聞き取り（2 回） ・広報誌の発行（2 回） ○生活支援活動などに取り組む団体等の活動支援 ・相談支援・活動調整 【山東】100 件 【伊吹】143 件 【米原】244 件 【近江】122 件 【1 層】347 件 ○研修会、情報交換会の開催 ・居場所づくり活動団体情報交換会（2 回） （第 1 回）参加者数：27 人 （第 2 回）参加者数：47 人 ・スゴワザ講座 「介護に関する入門的研修」（4 回シリーズ） 参加者数：9 人（基礎講座修了者：2 人、入門的研修修了者：4 人） 新規外部講師：2 事業所 「運転に関する安心セミナー」 参加者数：12 人 ○フードバンク活動団体支援 ・フードバンクまいばらとの共催によるフードドライブの実施 ・市を通じたアイリスオーヤマからの寄付食品の配布支援（4 回） ○高齢者等の移動手段の確保を促進するためのモデル事業の実施【再掲】 ・実施自治会数：3 自治会 延べ7日間 ○多様な活動主体とのマッチング ・移動販売実施の相談・調整 相談：3 件 自治会とのマッチング：2 件 ・農業体験（5 日間） 参加者数：9 人（3 組） ・料理体験 参加者数：4 人 ○福祉事業所における地域貢献活動への支援 ・居場所づくり活動（1 回） 参加者数：29 人 ○社会資源の発掘・把握 ・市内社会福祉法人及び福祉事業所への訪問・聞き取り 訪問件数：30 件 ・市内こども食堂への活動状況等の聞き取り 12 団体
------	---

(12) 福祉サービス事業者支援と協働

計画	市内の福祉・介護サービス事業者に対し、人材育成や研修、情報提供等の支援を行い、地域活動と事業者をつなげるコーディネートを行う。 ○福祉事業者への支援【地域づくり】 ・研修・講座の公開 ・相談支援・情報提供 ・福祉事業所と地域やボランティアとのマッチング ・社協広報誌を活用した情報提供・PR 活動 ・専門職による地域での出前講座開催の働きかけ ・各種事業への専門職の参画の働きかけ ・福祉人材の育成・確保についての協働
事業実績	○湖北地域介護サービス事業者協議会の運営支援（事務局、運営委員） ○居宅介護支援事業所等連絡会での生活支援コーディネーターや地域資源などに関する情報発信（1回） ○救命講習の開催（3回） 市内福祉事業所の参加：6人

(13) 社会福祉法人のネットワーク構築・地域貢献推進【地域づくり・多機関協働】

計画	社会福祉法人が創意工夫し、多様な「地域における公益的な取組」が展開されるよう、地域課題の共有や取り組みの協働化、地域と法人をつなぐ支援を行う。 ○地域課題や可能な取り組み等の把握のための市内社会福祉法人訪問と、課題解決に向けた活動のマッチング
事業実績	○市内社会福祉法人・福祉事業所訪問 ボランティアや貸出備品等に関する情報提供、各事業所等から提供できる福祉学習メニューや参加支援のための受入の可否、課題等についての聞き取りを実施 ・訪問件数：31 件 ○課題解決に向けた活動のマッチング ボランティア活動者の受入や各事業所運営推進会議委員就任への橋渡し等を実施 ・福祉事業所でのボランティア受入・活動等マッチング：9件 ・福祉学習・入門的研修での講師マッチング：3件 ・地域共生社会フェスタでのブース出展支援：12 件

(14) 日本赤十字社滋賀県支部米原市地区の運営

計画	福祉の増進をめざし、災害救護、医療活動をはじめとした幅広い活動を支えるため、地域における赤十字事業の推進を図る。 ○活動資金の募集と会員管理 ○赤十字事業に関する広報・啓発 ○災害救護（災害救援物資、弔慰金の交付） ○研修の実施（救急、健康生活支援、防災教育等） ○災害義援金の受付
----	---

事業実績	○活動資金の募集 ・赤十字会員増強運動の実施（５月） ・活動資金実績：5,170,279 円（681 件） ※市民、赤十字奉仕団、法人等 ○広報・啓発活動 ポスター、パンフレットの配布（各自治会、各世帯） ○災害義援金の募集（能登半島地震災害義援金、能登半島大雨災害義援金、令和7年8月6日からの大雨災害義援金、台風第8号に伴う災害義援金、台風第 12 号災害義援金、台風第 15 号災害静岡県義援金、トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金、台風第 22 号及び第 23 号災害義援金） ・能登半島地震災害義援金：1,823 円
------	---

Ⅲ. 安心して暮らせる基盤づくり

1. 福祉人材の確保に取り組みます

(1) 福祉介護人材の育成

計画	地域の支え合いや生活支援サービスの担い手の育成をめざすとともに、質の高い介護人材が、市内の事業所に安定的に確保されるよう、社会福祉法人や介護事業所等と協働して、福祉・介護人材の育成に取り組む。 ○福祉現場での実習の受け入れ ・福祉専門職養成のための実習の受け入れ（市内各福祉現場での実習） ○介護に関する入門的研修の開催【地域づくり】 ※市委託事業
	○福祉現場での実習の受け入れ ・臨地実習：24人 滋賀県立長浜看護専門学校 ・教員免許取得に係る介護施設実習：5人 滋賀大学、龍谷大学、京都光華女子大学、京都府立大学 ・保育士資格取得に係る施設実習：1人 滋賀文教短期大学 ・介護施設実習：1人 びわこ学院大学 ○介護に関する入門的研修の開催（4回シリーズ）【再掲】 ・参加者数：9人（基礎講座修了：2人、入門的研修修了：4人）

2. 暮らしの安心を確保します

(1) 地域福祉権利擁護事業・法人後見事業

計画

○地域福祉権利擁護事業の実施

暮らし全体のアセスメントと定期的なモニタリング、支援計画の見直しを行い、生活目標（支援目標）を共有したうえで認知症や障がいのある人への相談と生活支援を行う。

・福祉サービスの利用援助

・日常の金銭管理

・書類等の預かり

○法人後見事業の実施

意思決定支援を基本に、本人の望む生活の実現に向けて支援を行う。

事業実績

《地域福祉権利擁護事業》

実 績	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・支援回数	1,083 回	3,657 回	1,623 回	32 回	6,395 回
新規契約件数	6 人	6 人	3 人	0 人	15 人
終了件数	6 人	7 人	6 人	0 人	19 人
年度末契約数	18 人	46 人	18 人	1 人	83 人

《法人後見事業》

・受任件数：3 件（補助：0 件、保佐：1 件、後見：2 件）

実績	後見	保佐	補助	合計
新規件数	2 件	1 件	0 件	3 件
終了件数	1 件	1 件	0 件	2 件
後見等受任件数	7 件	4 件	1 件	12 件
相談・支援回数	386 回	720 回	24 回	1,130 回

(2) 介護保険事業

計画	介護が必要となっても、住み慣れた地域での生活が続けられるよう、利用者一人一人の暮らしに合わせた専門的で質の高いサービスを提供する。 また、感染症や災害への備えの徹底など、安心して安全なサービスを提供するため、職員一人一人の介護技術の向上と事業所内外の連携を高める。
----	--

《通所介護事業・総合事業通所介護》

計画	○送迎、健康チェック、入浴および食事、機能訓練、レクリエーション等のサービス提供 ○機能訓練（生活機能の維持向上、認知症の進行予防を目的とした各種のプログラム提供） ・リハビリ職との連携による個別プログラム、歯科医等と連携した口腔ケアの実施 ・日常生活動作訓練、社会参加型活動の実施 ○介護相談（本人や家族介護者の負担軽減に向けた寄り添い型支援） ・相談窓口の運営、出張相談の実施 ・家庭（自宅）訪問による困りごとの把握と対応 ・介護情報の提供 ○地域貢献活動（介護予防、地域福祉活動の支援） ・出前講座（介護・認知症予防等）の提供 ・福祉体験や実習の受入れ ○多様なニーズへの対応 ・「買い物サポートサービス」の実施 ・「緊急時預かりサービス」の実施 【通常規模型：1事業所】 デイサービスセンター愛らんど 【地域密着型：5事業所】 東部デイサービスセンターはびろ 北部デイサービスセンターきたで～ デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター行こ家のとせ デイサービスセンター寄ろ家うかの
事業実績	○広報（たより）の発行 ○運営推進会議の開催 ○ちょっと相談所の運営（愛らんど、はびろ、きたで～、のとせ、うかの） ○家庭訪問（はびろ） ○リハビリ職と連携したプログラムの実施（はびろ、きたで～、のとせ） ○音楽療法の実施（はびろ、きたで～、のとせ） ○認知症カフェの実施（はびろ、うかの） ○出前講座の提供（12回） ○地域福祉懇談会 ・地域ケア会議への参加（きたで～） ○生活支援の実施 ・買い物サポート：2人 20回（きたで～） ・福祉車両の貸出：19件（はびろ7件、きたで～12件） ・服薬管理：4人（愛らんど1人、ゆめホール1人、はびろ1人、きたで～1人）

・衣服預かり：7人（愛らんど1人、はびろ4人、のとせ1人、きたで～1人） ○家庭訪問の実施：5件（はびろ2件、のとせ3件） ○地域交流事業 ・はびろ茶屋、体操教室（はびろ） ・よもぎ餅会、クリスマス会（きたで～） ・チャイルドハウスとの交流会（うかの） ・近江認定こども園の訪問（のとせ） ○ボランティアの受入れ等 ・愛らんど：芸能ボランティア ・ゆめホール：傾聴ボランティア、芸能ボランティア ・はびろ：日赤奉仕団デイサービスボランティア ・きたで～：レクリエーションボランティア ・のとせ：ミシンボランティア ・うかの：葉刈りボランティア、ハンドマッサージボランティア ○福祉教育【再掲】 ・河南中学校職場体験学習：3人（ゆめホール） ・看護学生実習受け入れ：24人（ゆめホール、愛らんど、はびろ、うかの、のとせ）													
【デイサービスセンター愛らんど】定員：32人													
■稼働日数：309日 ■一日平均利用者数：22.2人 ■平均介護度：1.7 ■実利用者数：92人 ■新規契約数：30件 ■契約終了数：21件													
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	570	598	565	608	562	585	625	577	586	507	509	573	6,865
前年度	626	669	623	692	642	625	693	642	650	547	561	581	7,551
【デイサービスセンターゆめホール】定員：18人													
■稼働日数：309日 ■一日平均利用者数：8.6人 ■平均介護度：2.5 ■実利用者数：40人 ■新規契約数：8件 ■契約終了数：10件													
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	232	247	231	209	229	196	215	208	207	204	223	267	2,668
前年度	302	308	314	330	317	298	347	312	308	270	229	250	3,585
【東部デイサービスセンターはびろ】定員：18人													
■稼働日数：309日 ■一日平均利用者数：14.1人 ■平均介護度：1.6 ■実利用者数：52人 ■新規契約数：17件 ■契約終了数：9件													
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	371	402	353	378	362	378	380	365	369	339	315	355	4,367
前年度	300	319	306	328	356	347	373	334	317	296	307	347	3,930
【北部デイサービスセンターきたで～】定員：10人													
■稼働日数：258日 ■一日平均利用者数：6.1人 ■平均介護度：2.1 ■実利用者数：11人 ■新規契約数：1件 ■契約終了数：4件													
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	156	144	136	135	134	134	151	145	142	88	95	101	1,561
前年度	201	206	199	194	176	167	166	175	146	135	109	127	2,001

【デイサービスセンター行こ家のとせ】定員：14人（2月～定員：16人）													
■稼働日数：309日 ■一日平均利用者数：10.7人 ■平均介護度：1.3 ■実利用者数：39人 ■新規契約数：14件 ■契約終了数：6件													
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	236	263	268	277	269	258	268	256	301	277	314	332	3,319
前年度	253	265	248	269	267	249	267	245	212	215	226	248	2,964
【デイサービスセンター寄ろ家うかの】定員：10人													
■稼働日数：270日 ■一日平均利用者数：4.7人 ■平均介護度：1.9 ■実利用者数：12人 ■新規契約数：1件 ■契約終了数：12件													
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	139	152	149	148	141	137	136	125	86	39	5	-	1,257
前年度	201	201	192	208	194	189	210	177	144	135	126	146	2,123

《訪問介護事業・総合事業訪問介護》

計画

○利用者宅での身体介護、生活援助の提供

○終末期まで安心して在宅生活が送れるよう、医療やリハビリ職等と連携し、利用者に寄り添ったサービスの提供と家族介護者への支援を行う。

○地域貢献活動（地域福祉活動の支援）

- ・出前講座（介護技術）の実施
- ・福祉体験や実習の受入れ 等

○制度外サービスによる多様なニーズへの対応

- ・「ふれあいよりそいサービス」の実施

○ ICT の活用による効果的・効率的なサービスの提供

【事業所】

ビジットケアあおば

事業実績

■実利用者数：80人 ■延べ訪問回数：6,969回 ■平均介護度：2.4

■新規契約数：33件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	4	2	2	4	3	2	3	0	2	3	6	33

■契約終了数：39件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	3	3	3	3	1	3	4	4	5	3	3	39

○自治会活動への参加（1回） ※高溝自治会環境美化活動

○出前講座の提供（1回） ※筑摩自治会

実績(分)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ訪問時間数	514	495	510	481	469	473	528	466	461	401	401	457	5,656
前年度	587	518	483	510	484	506	511	532	561	468	470	528	6,158

《小規模多機能型居宅介護事業》

計画

事業実績

○「通い」を中心に、短期間の「宿泊」や自宅への「訪問」を組み合わせ、生活支援や機能訓練を提供する。

○利用者や家族に対する生活相談や助言、情報提供。

○地域貢献活動（介護予防、地域福祉活動の支援）

- ・出前講座（認知症・介護予防プログラム）の実施
- ・相談機能の拡充（出張・電話相談 など）
- ・福祉体験や実習の受入れ 等

○災害時における地域との連携

- ・周辺自治会の防災訓練への参加

【事業所】

みんなの家

■登録利用者数：20.6人（平均）

■新規契約者：7件 ■契約終了者：5件

■延べ提供回数：10,527回（通い＋訪問＋宿泊） ■平均介護度：2.2

■1日平均提供回数：28.9回

○運営推進会議の開催（6回）

○出前講座の提供（2回） ※高溝自治会、上多良自治会

○自治会活動への参加（4回） ※高溝自治会（環境美化活動、福祉懇談会、防災訓練、福祉活動打ち合わせ）

○見守りネットワーク会議への出席（1回） ※日光寺自治会（利用者2人）

○ちょっと相談所の運営 ※毎週月～土曜日（10時～16時）

○認知症カフェ「みんなのカフェ」の開催（1回） 参加者数：9人

実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	20	21	20	20	20	21	22	22	19	19	21	22	247
前年度	19	19	18	19	19	19	17	17	17	17	17	18	216
延べ提供回数	通い	361	363	339	357	333	372	367	305	347	314	342	4,162
	前年度	345	336	294	310	314	324	323	313	267	296	295	3,729
	訪問	469	481	476	540	570	567	593	500	449	460	505	6,164
	前年度	371	381	370	343	424	372	376	385	357	437	423	4,710
	宿泊	18	26	19	19	16	21	19	11	17	8	14	201
	前年度	11	13	14	13	19	20	8	7	22	16	14	171

《居宅介護支援事業》

計画	○要支援・要介護認定を受けた人からの相談を受け、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、他の介護サービス事業者との連絡、調整等を行う。 ○介護・福祉、医療やその他の生活支援サービス、家族、地域の支えあい活動やボランティア活動等を総合的にマネジメントする。 ○相談支援者との連携を強化し、関係機関と地域のネットワーク化を図る。 ・絆バトンの普及啓発 ・災害時要援護者支援体制の構築 ・ACP（アドバンスケアプランニング）の充実												

	【事業所】 ケアプランセンター米原市社会福祉協議会													
事業実績	■新規契約数：53 件 ■契約終了数：26 件 ○災害時対応ノート作成（利用者2人） ○見守りネットワーク会議への出席（1回） ※重町自治会（利用者2人） ○新規利用者への絆バトン有無の確認 ・必要時希望時には申請代行を行う他、救急医療カードの更新をサポート ○緊急連絡先、災害時避難場所の確認（利用者全員） ○自治会活動への参加（1回） ※高溝自治会環境美化活動													
	(件)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	給付管理	120	124	122	114	118	117	130	128	135	132	131	141	1,512
	前年度	138	142	138	127	123	124	136	137	132	122	131	127	1,577

（３）介護予防事業

計画	介護予防プログラムを提供し、一人一人の生きがいや自己実現につながる支援を実施する。 ○通所型サービス A（介護予防・日常生活支援総合事業） ・高齢者の閉じこもり予防や自立支援に資する短時間型の通所サービス 【事業所】 デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター愛らんど												
	■稼働日数：202 日 ■実利用者数：38 人 ■新規契約数： 11 件 ■契約終了数：11 件 ■延べ利用者数：1,163 人												
実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	104	99	92	98	77	102	108	99	96	79	95	114	1,163
前年度	104	113	96	111	93	102	108	112	98	100	96	113	1,246
計画	○健康増進筋力向上トレーニング事業（楽トレ事業） ・健康づくりと介護予防に向けた意識づけ、自主的・継続的な取り組みにつなげるための支援 ・筋トレマシン講習会の開催（月 1 回） ・筋トレマシンの地域開放 ・健康教室の開催（年2回） ※健康づくり、介護予防に関する講座 【会場】 米原市伊吹地域福祉センター愛らんど												
	○筋トレマシン自主トレーニング （愛らんど）延べ利用者数：1,373 人 （ゆめホール）延べ利用者数：284 人 ※ゆめホールは 10 月から実施 ○筋トレマシン講習会の開催												

	(愛らんど) 受講者数：27 人 (ゆめホール) 受講者数：37 人 ○健康教室の開催（2回） 「ガチガチ体をすっきり開放！動き易い体を手に入れよう！」 参加者数：15 人 「いつもの動作が楽になる・体を整える健康教室」 参加者数：13 人
--	---

（４）障がい福祉サービス

計画	障がいのある人が、地域社会の一員として暮らせるよう、関係機関と連携しながら生活支援や就労支援に取り組む。併せてサービス提供体制の見直しと強化に取り組み、支援内容の充実と質の向上を図るとともに、求められる支援ニーズに対する事業の拡大に取り組む。
----	--

《指定特定相談支援事業（一般相談／計画相談支援／地域生活拠点）・自立生活援助》

※一部米原市委託事業

計画	○障がい者（児）とその家族の地域での生活を支援するため、福祉サービスの利用や各種制度の活用、生活上の相談・支援を行い、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。 【事業所】 障がい者相談支援センターほたる													
事業実績	■相談支援実利用者数 ・障がい児：7 人（計画相談） ・障がい者：181 人（内、計画相談：152 人） ※7 年度内で終了の8 ケースは含まず。 ■新規相談件数：17 件 ・計画相談ケース：11 件 ・一般相談ケース：6 件													
実績(人)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	前年度
計画	25	13	11	16	15	12	12	11	10	11	18	26	180	195
モニタリング	16	27	17	14	19	32	29	18	16	24	14	14	240	242
合計	41	40	28	30	34	44	41	29	26	35	32	40	420	437
自立生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《障がい者ホームヘルプサービス》

計画	○障がいのある利用者に対し、身体介護や家事援助、乗降介助、公共交通機関や福祉有償運送を利用した通院同行介助等を行うほか、行動時の危険を回避するための援護や外出時の移動介護、その他生活全般にわたる援助を行う。 （居宅介護／重度訪問介護／行動援護／同行援護） ○自立生活の支援を目的とした訪問、随時対応 ・「ふれあいよりそいサービス」の実施 ○ ICT の活用による効果的・効率的なサービスの提供 【事業所】 ビジットケア あおば
----	--

事業実績	■実利用者数：64 人 ■延べ訪問回数：6,024 回 ■新規契約数：12 件												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	2	1	3	2	0	2	0	0	0	0	2	0	12
	■契約終了数：6 件												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	2	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	6
実績(分)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ訪問 時間数	569	617	604	662	589	575	595	541	598	526	507	587	6,970
前年度	699	691	706	751	628	591	666	660	637	591	549	622	7,791

《就労継続支援 B 型事業》

計画	○就労支援や社会参加の促進を目指し就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練等を実施する。 ・リサイクルショップの運営、喫茶、駄菓子の販売 ・企業内就労、企業の下請け作業 等 ○就労移行の促進と定着に向けた支援の強化 ・施設外就労、施設外支援の促進（企業実習の機会の確保、家庭訪問等の就労定着サポート 等） ○一人一人の生活形態を考慮した移行支援（高齢障がい者等に対するサービス移行支援） ○個別支援の強化（個別の特性に応じた作業の提供、作業環境の整備、ソーシャルスキルトレーニングの実施、研修参加の促進 等） ○「障がいの理解啓発」、「環境啓発」を目的とした講座・イベントの開催（市民参画、他事業所・当事者組織との協働による開催） ○記録の電子化による業務の効率化 【事業所】 ほおずき作業所
事業実績	■新規契約数：2 件 ■契約終了数：2 件（介護保険サービスへの移行） ○就労アセスメント実習：1 人 ・労働習慣、作業能力、作業態度、コミュニケーション力等の評価 ○利用者の工賃増への取り組み ・夏・冬バーゲンの開催、季節のイベントの開催、提供品の呼びかけ、回収、LINE 友達登録の促進（3月末現在 約 1,220 人 ※前年度比約 500 人増）、下請け作業・施設外就労の値上げ交渉 ○地域との交流・協働イベントの開催 ほおずき市、ほおずきフリーマーケット ○福祉教育【再掲】 職場体験学習の受入れ（大東中学校：1 人、双葉中学校：3 人）

	令和 7 年度実績	前年度実績
開設日数	256 日	254 日
実利用者数	25 人	24 人
就職者数	0 人	0 人
延べ利用者数	5,104 人	5,383 人
施設外就労（企業内作業）	623 人	743 人
出前喫茶	2 回/91 人	3 回/116 人
移動販売	41 回	30 回
延べ来客数	7,344 人	7,883 人
延べ活動協力者数 （ボランティア、出店者等）	139 人	137 人
平均工賃	30,682 円	25,439 円

《地域生活支援事業》

計画

○移動支援事業
障がいのある方の外出等、移動に関わる援助を行う。

○日中一時支援事業
介護者の一時的な休息や就労支援のために、日中における障がいのある方の活動の場を確保する。

【サービス提供場所】
デイサービスセンター寄ろ家うかの、東部デイサービスセンターはびろ、いをぎの家

【事業所】
ビジットケア あおば

事業実績

【移動支援事業】
■実利用者数：41 人
■延べ利用者数：966 人
■新規契約数：8 件
■契約終了数：4 件

【日中一時支援事業】 ※実績なし。

【移動支援事業】

実績(分)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ提供時間数	126	118	125	113	108	116	134	112	120	104	104	111	1,391
前年度	126	124	136	114	103	94	127	99	109	92	82	97	1,303

【日中一時支援事業】

実績(分)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ提供時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 放課後児童クラブ

※市委託事業

計 画	子どもたちの思いに寄り添い、一人一人の個性を大切にした見守りと支援を提供するとともに、保護者と支援員との連携を密にとり、子どもたちが安全に安心して成長できる居場所をつくる。													
	○児童の「遊び」と「生活」の支援 ○保護者会との連携 ○小学校、行政との連携（小学校との連絡協議会、研修の実施 等） 【事業所】 げんきッズ息長													
事 業 実 績	○保護者会活動の支援 夏休み奉仕作業、保護者会アンケート、保護者会総会 ○市および小学校との連携 ・小学校との連絡協議会（2回） ・市主任支援員協議会（3回） ・市支援員全体研修（2回）													
	実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開設日数	21	20	21	22	17	20	22	18	25	19	23	21	249
	実利用者数	36	23	24	48	48	24	25	25	34	34	25	36	
	延べ利用者数	438	398	428	642	622	418	453	386	403	382	358	442	5,370

(6) 子育て世帯訪問支援事業

※市委託事業

計 画	家事・子育て等に対して不安・負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等 がいる家庭の居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育 て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未 然に防ぐ。 ○家事支援 食事準備、洗濯、掃除、生活必需品の買い物、家事に関する簡易な相談援助 等 ○育児・養育支援 離乳食の準備・介助、おむつ交換、沐浴介助、対象乳児の兄姉（就学前）の育児 等 【事業所】 ビジットケアあおば												
	事業実績												
	※実績なし。												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ訪問 時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 家計改善支援事業

※市委託事業

計画	生活困窮者自立相談支援と連携し、家計状況を「見える化」するなど家計の状況を把握することや、家計再建や自ら家計を管理できるよう支援を行う。 ○支援計画の作成や相談支援、関係機関へのつなぎ ○貸付のあっせん
事業実績	【プラン作成あり】 ■利用者数：9人 ■プラン作成件数：10件（内、再プラン8件） ■プラン評価件数：9件 ■モニタリング件数：9件 ■相談支援回数（143回） ※面談、電話対応、連絡調整 【プラン作成なし】 ■利用者数：7人 ■相談支援回数（82回） ※面談、電話対応、連絡調整

(8) 生活福祉資金・一時援護資金貸付事業

計画

低所得者や高齢者・障がいのある人等に対し、継続的な相談援助と資金の貸し付けやその他の制度の活用等を通じて、生活の維持・安定、経済的自立に向けた支援を行う。

○生活福祉資金貸付事業 ※県社協委託・補助

- ・民生委員等との連携による相談援助と資金貸付
- 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付
- ・コロナ特例貸付利用後のフォローアップ支援
- ・生活困窮者自立支援事業との連携

○一時援護資金貸付事業

- ・民生委員等との連携による相談援助と資金貸付
- ・生活困窮者自立支援事業との連携
- ・情報のデータ化（紙ベースでの情報管理からデータ管理へ移行）
- ・償還が滞っている借受人に対し督促状および生活相談の案内を送付

事業実績

○生活福祉資金貸付制度

《本則貸付》

- 相談件数：59 件
- 申込件数：4 件

《コロナ特例貸付フォローアップ支援》

- 相談件数：48 件（実人数：21 人）
- 米原市の状況（令和7年度末時点）

	貸付件数	償還免除件数
特例緊急小口資金	250	120
特例総合支援資金（初回）	246	121
特例総合支援資金（延長）	116	55
特例総合支援資金（再貸付）	143	22

※転出者を除き、転入者を含む。

○一時援護資金貸付事業

- 申込件数：15 件

(9) フードバンク

計画	制度やサービスを利用するまでの期間や、制度やサービスでは対応できないなどの理由で、生活に困窮している人を対象に、歳末たすけあい募金・善意銀行を活用し、必要な物資を確保し提供する。 ○学生を含めたボランティアや市民活動、地域の企業と協働し、地域や企業に対してフードロスの削減、食料を必要とする方への提供を目的とした食料の提供を呼びかけ、回収・仕分け・配布事業を行うことで、食料支援を通じた地域住民相互の支え合い活動を展開する。【地域づくり】 ○対象者には、配布事業時にアンケート等を通じた聞き取りや相談窓口の情報提供を行い、関係機関と情報を共有する。【アウトリーチ】
事業実績	○「フードバンクまいばら」との共催によるフードドライブの実施【再掲】 ・フードドライブ（9/1～10/10） ○市を通じたアイリスオーヤマからの寄付食品の配布支援（4回） ○善意銀行からの物資寄付件数：10件 ○緊急支援回数（52回） ○相談支援機関を通じたアウトリーチ支援回数（24回） ○食料支援事業の実施 相談支援機関が生活に困窮していて、継続的な食料支援が必要と認めた世帯に配布。関係機関に対象者の状況や継続の希望等を聞き取り、必要に応じ支援機関に繋げた。 ・第1回食料支援事業の実施（7/15～7/18） 提供件数：9件 歳末たすけあい募金（22,356円）を財源として購入 ・第2回食料支援事業の実施（11/11～11/14） 提供件数：9件 歳末たすけあい募金（29,617円）を財源として購入 ・第3回食料支援事業の実施（3/10～3/13） 提供件数：9件 歳末たすけあい募金（47,163円）を財源として購入 ○フードバンクでつながる事業 ・民生委員児童委員が気になる世帯で相談支援機関とつながりのない世帯を対象に食料を配布し、関係づくりに活用してもらう。 ・申込件数：11件（米原2件、近江3件、山東1件、伊吹5件） ※内、対象9件・配布29回 ○第1回児童扶養手当受給世帯へのお米配付事業の実施（12/1～12/12） ・申込件数：22件 提供件数：22件 善意銀行の寄付を活用 ○第2回児童扶養手当受給世帯へのお米配付事業の実施（1/19～1/30） ・申込件数：33件 提供件数：22件 善意銀行の寄付と歳末たすけあい募金（51,580円）を財源として購入

（１０）音の広報発行事業 ※一部市委託事業

計 画	○市広報や議会だより、社協広報等の録音と発行 ○活動者のスキルアップ研修会の企画・実施、活動者への支援
事 業 実 績	○音の広報発行事業（市広報や議会だより、社協広報の録音と発行） ・広報まいばら（１２回） ・議会だより（５回） ※４月、７月、１０月、１１月、１月 ・社協広報てとて（４回） ※６月、９月、１１月、２月 ・音訳ＣＤ利用者：６人 ・音訳ＣＤの貸出：３ヶ所（近江図書館、山東図書館、伊吹薬草の里文化センター図書室） ・音声データの掲載（米原市、社協ホームページ） ○活動者への支援 ・音訳ボランティア交流会の開催（２回） （６／１６）参加者数：１０人 （２／１９）参加者数：９人

（１１）その他の生活支援

計 画	既存の制度やサービスでは支えきれない生活ニーズに対し、新たなサービスを企画・実施し、支援を必要とする人の生きがいを高め、日常の生活を支援する。
--------	--

《福祉車両貸出》

計 画	○本会が所有するリフト付き車両等を、生活支援活動団体や車いすを必要とする人の親族等に貸出し、医療機関等への送迎や社会参加における自助・互助の促進を図る。
事 業 実 績	○貸出件数：１７４件

《緊急時預かりサービス》

計 画	○緊急の事由により見守りや介護等ができない状態が生じた場合の預かりを実施し、暮らしの安心を確保する（２４時間／３６５日対応） ・地域なじみの安心事業 ・緊急預かりサービス
事 業 実 績	○地域なじみの安心事業 ※実績なし。 ○緊急預かりサービス ※実績なし。

《ふれあいよりそいサービス》

計 画	○既存の制度やサービスで対応できない生活上のニーズに対し、制度外サービスを提供する（居宅内の生活支援、通院等外出時の支援、服薬確認や安否確認のための見守り訪問等）
--------	--

事業実績	○実利用者数：2人													
	実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	3	5	3	2	29
	前年度	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	36

《車いす貸出事業》

計画	○介護保険等の制度による対応が困難な場合に、車いすの貸出を行う。
事業実績	○貸出件数：28件 内訳：愛らんど（11件）、ゆめホール（17件）

3. 災害に強いまちをつくります

（1）災害支援体制の構築

計画	災害時の支援活動を行うボランティア等の人材について、平常時から企業や団体、広く住民に周知・働き掛けを行い、除雪ボランティアとしての登録を行うなど、災害時にスムーズに支援活動へとつながる体制を構築する。 また、関係機関、福祉事業者等と協働し、地域防災計画に基づく個別避難支援計画の作成に向けた地域の取り組みを支援する。 さらに、各事業所が、災害時の利用者の安否やサービス連携について確認し、被災状況に応じたサービスを速やかに提供できる体制を整備する。 ○災害時支援の連携構築【地域づくり】 ○地域における個別避難支援計画の作成支援
事業実績	○災害時個別避難支援計画作成・更新に向けた活動支援【再掲】 取り組みの必要性の説明、具体的な実施方法に関する情報提供、相談支援の実施 支援体制づくりの支援：18自治会・延べ42回 ○防災力向上のための取組み【再掲】 マップの整備や登録リスト整理の説明、実施方法に関する情報提供と相談支援の実施 福祉マップの作成・更新支援 2自治会 ○避難行動要支援者登録の推進【再掲】 避難行動要支援者登録の推進 15自治会 ○サービス事業所ごとの非常災害対策の実施 ・業務継続計画の点検（計画の読み合わせ、確認等）

（2）災害ボランティアセンターの設置運営

計画	被災者が抱える問題と活動ニーズとが的確に調整され、災害時に必要となる新たなボランティア活動の創設や地域との連携など、円滑な運営のための人材の養成と体制の整備を行う。 ○マニュアルの点検・見直し、市民、関係機関等が参加する実践を想定した設置・運営訓練の実施
----	---

	○運営サポーターの募集・周知啓発（出前講座、地域共生社会フェスタにおいて） ○運営サポーターミーティングの開催（地域啓発、サポーター研修、訓練 等） ○災害ボランティアバスの運行（支援ニーズに応じて実施）
事業実績	○マニュアルの点検・更新の実施 ○運営サポーターの募集 ・地域共生社会フェスタでのチラシ配布 ・地元企業に除雪ボランティア募集チラシの配布 ○サポーターミーティング ※企画・案内を実施したが参加者なし。 ○災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施（10/26）

Ⅳ. 推進体制の充実・強化

(1) 組織基盤の強化

計画	市民の信頼と地域のニーズに応えるため、ガバナンスを高め、自律した安定的で持続的な法人運営の確立に向け取り組む。 ○事業評価の実施、評価に基づく運営体制および展開方法の検討 ○法令遵守の徹底（業務管理体制によるチェック、専門機関による業務点検・指導） ○業務の効率化・業務改善の推進 ○部門間連携の推進・強化（事業推進プロジェクト、事例検討の実施） ○災害時対応の強化（BCP 等の検証と訓練の実施） ○社協事業・活動等の発信と理解促進、情報公開の適切な実施 ○理事会・評議員会の適切な運営と活性化
事業実績	○事業評価の実施、評価に基づく運営体制および展開方法の検討 ・介護保険サービス・障がい福祉サービスの今後の展開について（7/31 理事委員会） ・経営課題の改善に向けた対策について（11/25 理事会、12/19 理事委員会） ○法令遵守の徹底（業務管理体制によるチェック、専門機関による業務点検・指導） ・内部チェックの実施 - 権利擁護事業利用者預り物チェックの実施（6/27） - 税理士による会計指導（随時） ・福祉サービスに関する苦情解決事業の実施 - 苦情相談委員会の開催（6/25、10/30） ・研修の実施 - 法令遵守・個人情報の保護 ※各サービス事業所 - ハラスメント対策研修（12/5） ※職員全体研修 ・自己点検（7月）、自己評価（1月）の実施 ※各サービス事業所 ○業務の効率化・業務改善の推進 ・業務目標管理の実施による業務改善・業務効率化の推進 ○部門間連携の推進・強化 ・事業推進プロジェクトの実施（社協内広報の発行 等） ・部署横断事例検討の実施（2回） ・部署横断ワークショップの実施（2回） ○災害時等の対応強化（BCP 等の検証と訓練の実施） ・研修の実施（感染症/食中毒/まん延防止） ※各サービス事業所 ○社協事業・活動等の発信と理解促進、情報公開の適切な実施 ・SNS、インターネット等を活用した情報発信 ○理事会・評議員会の開催・運営 ・第1回評議員会（6/19） - 令和6年度事業報告、令和6年度決算、定款施行細則の一部改正、役員等の報酬に関する規程の一部改正、役員の選任 ・第2回評議員会（2/5） - 令和7年度第1回補正予算 ・第3回評議員会（3/24） - 令和8年度事業計画、令和8年度予算

・第1回理事会（6/4）

令和6年度事業報告、令和6年度決算、定款施行細則の一部改正、役員等の報酬に関する規程の一部改正、人事考課規程の一部改正、理事候補者の選出、監事候補者の選出、評議員候補者（定款第9条第2項該当者）の選出、評議員候補者の選出

・第2回理事会（6/20）

社会福祉法人米原市社会福祉協議会会長・副会長の選任、社会福祉法人米原市社会福祉協議会委員会の各委員および委員長の選任

・第3回理事会（7/31）

パートタイマー職員就業規則の一部改正

・第4回理事会（9/26）

准正規職員給与規程の一部改正、パートタイマー職員給与規程の一部改正、育児・介護休業等に関する規程の一部改正、役職員旅費規程の一部改正、デイサービスセンター寄ろ家うかの運営規程の廃止、ケアプランセンター米原市社会福祉協議会運営規程の一部改正

・第5回理事会（11/25）

令和7年度表彰・感謝対象者の決定、令和7年度決算見込み・経営課題の改善に向けた対策

・第6回理事会（12/29）

評議員候補者の選出、デイサービスセンター行こ家のとせ運営規程（地域密着型通所介護）の一部改正、デイサービスセンター行こ家のとせ運営規程（総合事業）の一部改正

・第7回理事会（1/22）

令和7年度第1回補正予算、正規職員就業規則の一部改正、准正規職員就業規則の一部改正、有期雇用正規職員就業規則の制定、令和7年度第2回評議員会の招集

・第8回理事会（2/20）

令和7年度第3回評議員会の招集

・第9回理事会（3/18）

正規職員給与規程の一部改正、准正規職員給与規程の一部改正、パートタイマー職員給与規程の一部改正、役職員旅費規程の一部改正、経理規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の内容、苦情相談員の選任、デイサービスセンター愛らんど運営規程等の一部改正、デイサービスセンター愛らんど介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（総合事業通所介護）運営規程等の一部改正、令和8年度事業計画、令和8年度予算、令和8年度第1回評議員会の招集

○理事委員会の開催・運営

・第1回理事委員会（7/31）

地域福祉活動補助金および福祉団体等活動推進補助金、介護保険サービス・障がい福祉サービスの今後の展開

・第2回理事委員会（12/19）

経営課題の改善に向けた対策

○監事会の開催

・第1回監事会（5/23） 令和6年度事業監査・会計監査

	・第2回監事会（11/5） 令和7年度上半期事業監査・会計監査 ○評議員選任・解任委員会の開催 ・第1回評議員選任・解任委員会（6/5） ※退任5名、選任29名 ○役員等研修の実施 ・新任評議員研修の開催（6/19） 社会福祉協議会と評議員の役割、米原市社会福祉協議会の取り組み
--	--

（2）財政基盤の強化

計画	収支分析を行い、経営の観点に基づいた事業評価を実施し、必要な対策を行う。運営体制を含めた事業の実施方法と、財源（公費・自主）の現状分析を的確に行い、事業効果を明らかにすることで市民や行政等の理解を得て、必要な財源の確保に努める。 ○予実管理・コスト管理の徹底、コスト（オフィスコスト等）の削減 ○委託事業に係る受託条件の適正化協議 ○介護保険・障がい福祉サービスの動向把握と経営分析、対策の実施
事業実績	○委託事業に係る受託条件の適正化協議 ・補助、委託関係予算に関する協議、要望活動の実施（7月） ○介護保険・障がい福祉サービスの動向把握と経営分析、対策の実施 ・業務内容や業務量、業務への適性に応じた職員の配置 ・「デイサービスセンターゆめホール」の地域密着型への移行、各事業所（愛らんど、はびろ、行こ家のとせ）の定員見直し ・「寄ろ家うかの」の事業終了 ・「行こ家のとせ」の拡充に向けた準備 ・米原地域福祉センターでの筋トレマシンの整備、予防事業の啓発 ・次年度以降における経営改善に係る取組の検討（障がい分野の事業への転換、障がい分野の専門性の向上、「デイサービスセンターゆめホール」の今後の運営、給食業務の改善 等）

（3）人材の確保・育成・定着

計画	職員に求められる姿を明確に示し、日々の行動や能力の把握とそれらに対する適切な評価を通じて、職員一人一人の意欲向上と能力開発を図るとともに、働きやすい環境づくりに取り組む。 ○人事考課・目標管理制度の運用（考課結果の給与体系への反映、業務目標管理の実施） ○研修体系による研修の実施、資格等取得の促進 ○働きやすい職場環境づくり（年次有給休暇・介護育児休暇等の取得促進、時間外労働削減の推進、ハラスメント防止対策の実施、ストレスチェックの実施、個々の暮らしに応じた働き方の提案等）
事業実績	○人事考課・目標管理の実施 ・人事考課結果の賞与への反映 ○研修体系による研修の実施 ・キャリアパス/研修課程の実施（定期研修、新任職員研修、研修受講者による復命研修 等）

- ・事業別研修の実施（法令遵守/個人情報保護、接遇/権利擁護/虐待防止/身体拘束等適正化、感染症/食中毒/まん延防止 等） ※各サービス事業所

○働きやすい職場環境づくり

職員の健康状態の把握、ストレスチェックの実施、熱中症予防対策の実施、年次有給休暇等の取得促進、時間外労働削減の推進、パートタイマー職員就業規則の一部改正（特別休暇付与日数の見直し）、育児・介護休業等に関する規程の一部改正（「柔軟な働き方を実現するための措置」の規定）、「職場におけるハラスメントに関する対応マニュアル」および「市民や事業・サービスの利用者・家族等によるハラスメントに関する対応マニュアル」の整備、一般事業主行動計画（次期計画）の策定、処遇改善に向けた給与等の見直し（正規職員・准正規職員・パートタイマー職員給与規程の一部改正（最低賃金改定への対応、基本給の引上げ、処遇改善手当・主任管理者手当の引上げ、昇給停止年限の廃止、就業期間の拡大））